

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	日本医療科学大学
設置者名	学校法人 城西医療学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
保健医療学部	診療放射線学科	夜・通信	0	25	66	91	13	
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	夜・通信		17	75	92	13	
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	夜・通信		17	75	92	13	
	看護学科	夜・通信		7	88	95	13	
	臨床工学科	夜・通信		9	40	49	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページ_大学案内_情報公開_シラバス (https://www.nims.sc.jp/about/info/syllabus.html)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本医療科学大学
設置者名	学校法人 城西医療学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ_大学案内_情報公開_財務情報 (https://www.nims.sc.jp/about/info/finance.html)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	城西放射線技術専門学校 (前職)	平成30年6月1日 ～ 令和5年5月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	東京医療保健大学 非常勤講師 (現職)	平成30年6月1日 ～ 令和5年5月31日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本医療科学大学
設置者名	学校法人 城西医療学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスを作成する過程で、授業目標や授業計画を具体的に考え、成績評価方法を具体的に検討したりすることが求められる。</p> <p>授業概要 学習者が教育目標や学位授与の方針、教育課程の編成方針における授業の位置づけを認識し、「学生の到達目標」を示すことによって、卒業時や卒業後の将来ビジョンをもって意欲的に学ぶことができるようにする。</p> <p>本学学修支援システム NIMS ポータルにおいて、電子シラバスとして公表している。</p> <p>公表時期：当該年度の4月1日</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学ホームページ_大学案内_情報公開_シラバス (https://www.nims.ac.jp/about/info/syllabus.html)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修意欲の把握概要 到達目標は学生を主体とした目標で、具体的には「学力の3要素」である『知識・技能』、『思考・判断・表現』、『主体的に学習に取り組む態度』を学修成果の評価として、明確に回答できるように心掛けるようにする。</p> <p>学修成果の評価・単位 学生便覧にて、各学科・専攻ごとに教育課程が記載されており、教育区分ごとに卒業に必要な修得単位数が示されている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価の概要

成績評価の記載には、「主体的（積極的）な授業参加度（貢献度）」を重視する。具体的には、小レポート・コメントシート等を分かり易く記載することを心掛けるようにする。

GPAの客観的な指標の具体的な内容

成績評価		成績評価基準	GP	可否
S	100～90点	学修目標を十分に達成し極めて優秀である	4	合格
A	89～80点	学修目標を十分に達成し優秀である	3	
B	79～70点	学修目標を十分に達成している	2	
C	69～60点	学修目標を達成している	1	
N	認定		計算外	
D	60点未満	学修目標を達成していない	0	不合格

学生便覧の成績評価の項目に記載されている通りで、公表されている。

$$(1) \text{ 学期 GPA} = \frac{(S \text{ の単位数} \times 4) + (A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + (C \text{ の単位数} \times 1)}{\text{当該学期に履修登録した単位数の合計（不合格科目を含む）}}$$

$$(2) \text{ 累積 GPA} = \frac{\text{在学全期間の} \{ (S \text{ の単位数} \times 4) + (A \text{ の単位数} \times 3) + (B \text{ の単位数} \times 2) + (C \text{ の単位数} \times 1) \}}{\text{在学全期間に履修登録した単位数の合計（不合格科目を含む）}}$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

大学ホームページ_大学案内_情報公開_カリキュラム紹介
(<https://www.nims.ac.jp/about/info/curriculum.html>)

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定・学位授与に関する方針</p> <p>本学のアドミッションポリシーに基づいて入学を許可されたものは、入学後、本学の建学の精神のもと保健医療に関する高い専門性と研究能力とともに、教養豊かな人間性と適切な倫理観を身につけ、本学の教育目的を達成すべく、各学科・専攻において定められた教科・演習・実習を修得する。各学科・専攻の示す所定の単位を修得した学生は、保健・医療・福祉の領域で活躍できる能力を有するとして、卒業が認められ、各学科・専攻に示す学位が授与される。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>大学ホームページ_大学案内_情報公開_教育研究上の基礎的な情報 (https://www.nims.ac.jp/about/info/basic.html)</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	日本医療科学大学
設置者名	学校法人 城西医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ_大学案内_情報公開_財務情報及び事業報告 (https://nims.ac.jp/about/info/finance.html)
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告(書)	

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

大学ホームページ_大学案内_情報公開_自己点検・評価報告書 (https://nims.ac.jp/about/info/inspection.html)

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的 (公表方法：大学ホームページ_大学案内_情報公開_教育研究上の基礎的な情報) (https://www.nims.ac.jp/about/info/basic.html)
(概要) 保健医療学部 保健医療に関する高い専門性と研究能力を有し、教養豊かな人間性と適切な倫理観を持ち、保健・医療・福祉の領域で活躍できる人材の育成を目的とする。 保健医療学部 診療放射線学科 保健医療学部の教育研究上の目的に基づき、放射線技術に関する最先端の専門知識と技術力を持ち、診療放射線技師としてチーム医療に貢献するだけでなく、保健・医療の分野で活躍できる人材の育成を目的とする。 保健医療学部 リハビリテーション学科理学療法学専攻 保健医療学部の教育研究上の目的に基づき、理学療法の諸科学や医学に精通し、理学療法に関する高い技術力を持ち、理学療法士として保健・医療の現場などで活躍する人材の育成を目的とする。 保健医療学部 リハビリテーション学科作業療法学専攻 保健医療学部の教育研究上の目的に基づき、作業療法に関する理論と技術に精通し、作業療法士として社会の要請にこたえられる豊かな人間性を持った人材の育成を目的とする。 保健医療学部 看護学科 保健医療学部の教育研究上の目的に基づき、看護に関する最新の知識と技術の習得を基礎として、看護師として深い人間理解と社会的使命を遂行しうる人材の育成を目的とする。 保健医療学部 臨床工学科 保健医療学部の教育研究上の目的に基づき、臨床工学に関する諸科学及び生命維持装置等の医療機器・設備等に対する知識・技術に精通し、臨床工学技士として医療の現場等で活躍できる人材の育成を目的とする。

卒業の認定に関する方針

(公表方法：大学ホームページ_大学案内_情報公開_教育研究上の基礎的な情報)
(<https://www.nims.ac.jp/about/info/basic.html>)

(概要)

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマポリシー)

本学のアドミッションポリシーに基づいて入学を許可されたものは、入学後、本学の建学の精神のもとに保健医療に関する高い専門性と研究能力とともに、教養豊かな人間性と適切な倫理観を身につけ本学の教育目的を達成すべく、各学科専攻において定められた教科・演習・実習を修得する。各学科専攻の示す所定の単位を取得した学生は、保健・医療・福祉の領域で活躍できる能力を有するとして、卒業が認められ、各学科・専攻に示す学位が授与される。各学科・専攻においては、以下のように卒業認定・学位授与に関して規程している。

(1) 診療放射線学科

- ①放射線技術に関する最先端の専門知識と技術力を持ち、診療放射線技師として、チーム医療の一員として貢献できる能力を有すること。
- ②診療放射線技師として、保健・医療の分野で活躍できる能力を有すること。
- ③診療放射線学科に4年以上在学し、所定の単位（基礎教育科目24単位以上、専門基礎科目36単位以上、専門科目67単位）を修得したものの。
- ④取得学位は、学士（診療放射線学）とする。

(2) リハビリテーション学科 理学療法学専攻

- ①理学療法の諸科学や医学に精通し、理学療法に関する高い技術力を有すること。
- ②理学療法士として保健・医療の現場などで活躍できる能力を有すること。
- ③リハビリテーション学科・理学療法学専攻に4年以上在学し、所定の単位（基礎教育科目24単位以上、専門基礎科目37単位以上、専門科目66単位以上）を修得したものの。
- ④取得学位は、学士（理学療法学）とする。

(3) リハビリテーション学科 作業療法学専攻

- ①作業療法に関する理論と技術を有すること。
- ②作業療法士として社会の要請にこたえられる豊かな人間性を有すること。
- ③リハビリテーション学科・作業療法学専攻に4年以上在学し、所定の単位（基礎教育科目24単位以上、専門基礎科目36単位以上、専門科目67単位以上）を修得したものの。
- ④取得学位は、学士（作業療法学）とする。

(4) 看護学科

- ①看護に関する最新の知識と技術を有すること。
- ②看護師として深い人間理解と社会的使命を遂行しうる能力を有すること。
- ③看護学科に4年以上在学し、所定の単位（基礎教育科目24単位以上、専門基礎科目27単位以上、専門科目76単位以上）を修得したものの。ただし、保健師国家試験受験希望者は基礎教育科目の選択科目13単位のうち「医療保健統計学」2単位を含めて選択し、更に専門科目の中から「地域看護活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、地域看護学実習Ⅰ・Ⅱ、地域看護管理論、地域看護学セミナー」の7科目14単位を前述の単位に加えるものとする。
- ④取得学位は、学士（看護学）とする。

(5) 臨床工学科

- ①臨床工学に関する諸科学及び生命維持管理装置等の医療機器・設備等に対する知識・技術を有すること。
- ②臨床工学技士として医療の現場等で活躍できる能力を有すること。
- ③臨床工学科に4年以上在学し、所定の単位（基礎教育科目24単位以上、専門基礎科目44単位以上、専門科目59単位以上）を修得したものの。
- ④取得学位は、学士（臨床工学）とする。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：大学ホームページ_大学案内_情報公開_教育研究上の基礎的な情報)

(<https://www.nims.ac.jp/about/info/basic.html>)

(概要)

「教育課程の編成方針（カリキュラムポリシー）」

(1) 教育課程の基本構成

本学部の設置の趣旨・目的にしたがい、授業科目を『基礎教育科目』と『専門基礎科目』と『専門科目』とに区分する。

- ①『基礎教育科目』では、幅広い知識や教養、豊かな人間性を育むだけでなく、『専門基礎科目』を学ぶための基礎的な知識や能力を育成する。『基礎教育科目』は、人文科学・社会科学・自然科学及び基礎演習・外国語の各科目群によって構成する。
- ②『専門基礎科目』では、診療放射線学科・リハビリテーション学科・看護学科・臨床工学科それぞれの医療関係の基礎を学ぶ科目によって構成する。
- ③『専門科目』では、各学科それぞれの専門技術者として必須の内容を学ぶ科目により構成する。

(2) 各科目及び科目群の配置構成

カリキュラム表の配当年次に示されているように、各科目は系統的・段階的に学ぶことのできるよう配置されているが、各科目群に偏らず、かつ入学年次から専門的知識への興味を育むことによる教育効果に鑑み、『専門基礎科目』、『専門科目』を配置する。

(3) 『基礎教育科目』の編成

- ①「優れた技術者である前に、優れた人間であれ」との観点から、人間そのものを深く理解するために、人文科学系の授業を開設する。
- ②現代の複雑な社会構造や多様な文化に対する理解を深め、知識・教養を高めるために、社会科学系の科目を開設する。
- ③医療に携わる技術者・研究者として必要な自然科学系の知識の修得のために、自然科学系の科目を開設する。
- ④ますます発展する情報化社会に対応できる能力を養成するため、情報の処理・表現・発信等に関する科目を開設する。
- ⑤国際化に対応するための語学力の養成を目的として、必修科目の英語のほかに、中国語を開設する。また、国際的な教養と知識を身につけるために「国際関係論」、「比較文化論」、「国際保健学」を開設する。

(4) 『専門基礎科目』『専門科目』の編成

「国家試験合格」のための十分で無駄のない科目を、それぞれの学科に開設する。更に、将来学生個々人が目指す仕事の内容や、スキルアップのために有益だと思われる選択科目を開設する。

入学者の受入れに関する方針

公表方法：大学ホームページ_大学案内_入試情報

(<https://www.nims.ac.jp/admission/>)

(概要)

「入学者受入方針（アドミッションポリシー）」

日本医療科学大学入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）について、日本医療科学大学では、次のような人材を求めている。この方針に従って多様な入学試験制度を導入し、募集を行う。将来、医療関係者として、また医療に関する研究者としても活躍が期待されるもの。具体的には、以下の通りである。

- ①大学進学に対して確かな目的意識を持ち、学ぶ姿勢を大切にするもの。
- ②自己形成に励み、将来に向かって地道に努力するもの。
- ③言動、身だしなみなどについて礼儀や常識を心得ているもの。
- ④他人への思いやりや連帯感を持っているもの。
- ⑤好ましい人間関係を身につけ、健全な社会人として活躍する可能性を持つもの。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ_大学案内_教員一覧_大学組織図

(<https://www.nims.ac.jp/about/teacher/pdf/organization2019.pdf>)

3. ③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
—	—	29人	21人	11人	18人	1人	80人
—	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			130人				130人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページ_大学案内_教員一覧 (https://www.nims.ac.jp/about/teacher/)					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健医療学部	330人	374人	113.3%	1,320人	1,434人	108.6%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	330人	374人	113.3%	1,320人	1,434人	108.6%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健医療学部	318人 (100%)	1人 (0.3%)	295人 (92.8%)	22人 (6.9%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	318人 (100%)	1人 (0.3%)	295人 (92.9%)	22人 (6.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) ※様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】を再掲

シラバスを作成する過程で、授業目標や授業計画を具体的に考え、成績評価方法を具体的に検討したりすることが求められる。

授業概要

学習者が教育目標や学位授与の方針、教育課程の編成方針における授業の位置づけを認識し、「学生の到達目標」を示すことによって、卒業時や卒業後の将来ビジョンをもって意欲的に学ぶことができるようにする。

本学学修支援システム NIMS ポータルにおいて、電子シラバスとして公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ※様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】を再掲

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学修意欲の把握概要
到達目標は学生を主体とした目標で、具体的には「学力の3要素」である『知識・技能』、『思考・判断・表現』、『主体的に学習に取り組む態度』を学修成果の評価として、明確に回答できるように心掛けるようにする。

学修成果の評価・単位
学生便覧にて、各学科・専攻ごとに教育課程が記載されており、教育区分ごとに卒業に必要な修得単位数が示されている。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定・学位授与に関する方針
本学のアドミッションポリシーに基づいて入学を許可されたものは、入学後、本学の建学の精神のもと保健医療に関する高い専門性と研究能力とともに、教養豊かな人間性と適切な倫理観を身につけ、本学の教育目的を達成すべく、各学科・専攻において定められた教科・演習・実習を修得する。各学科・専攻の示す所定の単位を修得した学生は、保健・医療・福祉の領域で活躍できる能力を有するとして、卒業が認められ、各学科・専攻に示す学位が授与される。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健医療学部	診療放射線学科	127 単位	有・無	170 単位
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	127 単位	有・無	156 単位
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	127 単位	有・無	159 単位
	看護学科	127 単位	有・無	150 単位
	臨床工学科	127 単位	有・無	156 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：
大学ホームページ_キャンパスライフ_キャンパスマップ (<https://www.nims.ac.jp/campus/map/>)
大学ホームページ_学部案内 (<https://www.nims.ac.jp/faculty/index.html>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
保健医療学部	診療放射線学科	800,000 円	300,000 円	726,000 円 766,000 円 776,000 円	設備維持費、実習費等含む
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	800,000 円	300,000 円	756,000 円 826,000 円 836,000 円	設備維持費、実習費、 実習宿泊費積立等含む
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	800,000 円	300,000 円	756,000 円 826,000 円 836,000 円	設備維持費、実習費、 実習宿泊費積立等含む
	看護学科	800,000 円	300,000 円	726,000 円 766,000 円 776,000 円	設備維持費、実習費等含む
	臨床工学科	800,000 円	300,000 円	726,000 円 766,000 円 776,000 円	設備維持費、実習費等含む

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 医療・基礎教育科 医療・基礎教育科では、基礎学力の向上を図るため、入学前課題等の事前教育をはじめ、1年次から「基礎教育演習」を導入し、個々の習熟度に合わせた科目別プログラムを用意し、きめ細かな指導を行い「基礎教養」や「基礎医学」への理解を支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職支援センター 就職支援センターに専任職員を配置して、個別に模擬面接・履歴書指導などの就職活動に関するトータル的なサポートを行い、内定獲得までバックアップしている。 また、毎年、学外の会場にて求人説明会を開催しており、全国各地の医療施設採用担当者が参加されている。平成元年度は、660人の医療施設関係者が参加され、本学からは3年生と4年生が参加した。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 健康管理センター 健康管理センターを設置し、専門の職員が常駐して、健康管理・健康支援に関する専門的業務を行い、学生の健康の維持増進を支援している。 学校保健法および学生規程第15条に基づき、年1回の健康診断を実施し、学生に受診を義務付けている。 また、学生相談室では、毎週火曜日と木曜日に専門のカウンセラーが、学生生活全般について相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページ_大学案内_情報公開 (https://www.nims.ac.jp/about/info/)
